

## プランに関すること以外の御意見まとめ

意見の内容
<p>プランには経営の保全を担保する項目がないので、期待通りの回答は得られないと感じます。</p>
<p>周術期の口腔機能管理を行うことにより、投薬等による副作用の抑制や症状の緩和、入院期間の短縮等に非常に効果があることはご承知のことと思います。 対象となる患者さんは非常に数が多いと思いますが、この地区における周術期口腔機能管理の要請は大変少ないように思います。各病院での実施数や対象者に対する実施割合がどうなっているのか関心があります。</p>
<p>公立、公的病院には、本来担うべき高度急性期、急性期の医療をお願いし、その他の分野は民間病院が主体となっていくことを明確にしておきたいと考えます。</p>
<p>4病院がプランの柱として「高度急性期医療」を担病院としての立ち位置にあること、又今後その立場が変わらないであろうことが示されておりますが、現在医療の質の向上と高度な医療レベルが要求され、又高齢化がどんどん進み医療依存度が上がっている中では、当然の方向性と思われまます。 一方で地域包括ケアシステム等、地域連携の充実と地域完結型の医療を進めている中で、中小病院における急性期医療も必要不可欠であり、大病院のみで全てに対応するのは不可能であるとも考えます。又医療依存度が高くどうしても慢性期医療で対応できないケースも多くあります。 こうした地域における中小病院の役割を十分考慮いただき、適格、適切な病床の構築を望みます。</p>
<p>公的医療機関には「山間・へき地」や「不採算・特殊部門」といった民間医療機関では困難な「地域・分野」の医療提供への重点化が求められているが、加入者サービスの観点から考えると、公立・公的・民間を問わず、生活圏内に必要な医療提供体制が整っていることが望ましい。 したがって保険者の立場としては、医療提供体制の見直しにあたっては、単に公的医療機関による帳尻あわせにならないよう調整を図り、加入者サービスの低下招かない医療提供体制の構築をお願いしたい。</p>